

# 三菱標準形エレベーター “AXIEZ(アクシーズ)”



吉川正巳\*

Mitsubishi Standard Elevator “AXIEZ”

Masami Yoshikawa

## 要 旨

エレベーターに対するニーズが多様化している。三菱電機は、利用者はもちろん、ビルオーナーや建築設計者からの多種多様、かつ本質的な要求にこたえるエレベーターとして、移動性能(Motion)、省スペース化(Space Saving)、快適性(Comfort)、ユニバーサルデザイン(Universal Design)の4つの軸をコンセプトとした、従来にない高性能・高機能の標準形エレベーター“AXIEZ(アクシーズ)”を開発し、発売した。

このエレベーターは、標準形エレベーターの新たな基準を提案するものであり、開発に当たっては、従来のエレベーターの常識、規制にとらわれず、利用者、オーナー、建築デザイナーの視点に立って、多様なニーズにどうこたえるかを基本から考え、コンセプトを作り上げた。このコンセプトを実現するために、当社の持てる技術を最大限活用するとともに、新たな技術開発により、製品化した。

AXIEZ(アクシーズ)の特長を以下に述べる。

### (1) 移動性能の高度化...可変速エレベーターシステム

エレベーターのかごとおもりの質量バランスを利用し、中間負荷時にエレベーターを定格速度以上の速度で走行させる業界初の“可変速エレベーターシステム”を実現した。

### (2) 省スペース化の追求...オーバーヘッド寸法3,000mm

独自に開発した電子化終端階強制減速装置などにより、エレベーター昇降路の上部スペース(オーバーヘッド)寸法を、業界最小の3,000mmまで縮小し、昇降路上部スペースがビルの屋上に突出しないビル建築を可能とした。

### (3) 快適性の向上...フレキシブルデラックス天井

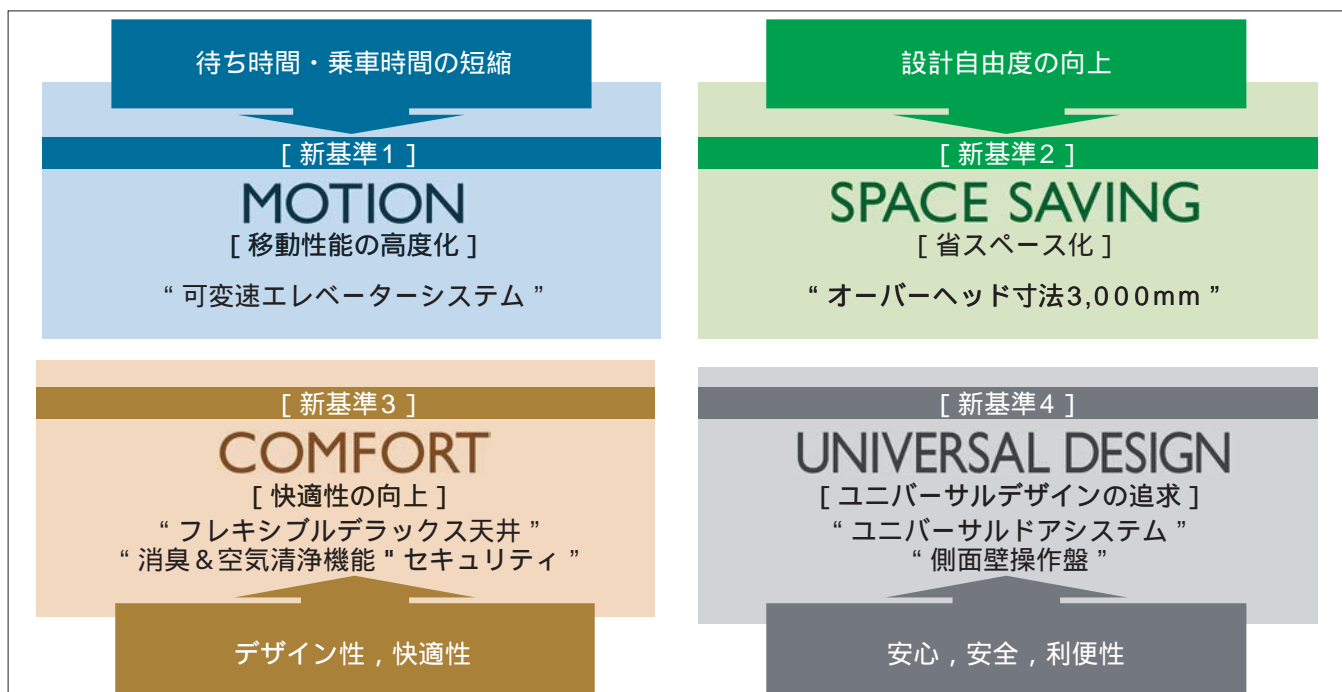
かご天井の照明板を自由に組み合わせできる“組替天井”を業界で初めて採用した。フレキシブルに組み替え可能な天井により、多様なかご室デザインを実現した。

### (4) ユニバーサルデザイン・安心の追求...ユニバーサルドアシステム、側面壁操作盤

“マルチビームドアセンサ”敷居間隔10mm”及び業界初の“気配りドア(かご戸袋付近の乗客の手や小荷物を感知し、戸の開く速度を制御)”の3機能を“ユニバーサルドアシステム”として統合し、全機種に基本装備し、乗降時における利用者の安心感や安全性を向上させた。

また、かご内操作盤はデザインを一新するとともに“側面壁取付け”を基本仕様とし、車いす利用の人などの利便性の向上を図った。

本稿では、エレベーターに求められるニーズの本質から、それにこたえ得る製品を目指して開発した三菱標準形エレベーターAXIEZの概要について述べる。



## AXIEZの4つのコンセプト